

**産業経営経済学特論（一）（2単位）**

担当者氏名 菊地 哲夫 美土路 知之

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

経営学・経済学に関する基礎的知識の習得の上に、生物産業経営を対象とした応用経営経済学を学ぶことを到達目標とし、テーマは「現代経営経済と生物産業経営の課題」とする。そして専攻が立地する地域特性に即して、主として生物産業の経営経済分析や情報科学の手法を習得する。一般経営学・経済学の学説史の基礎的理解をベースに現実を解明する方法論的立場を確立し、経済学的素養を伴った応用経営学として再構築を行う。農業・食料農村問題が、旧来のような狭い農業経営経済学のなかにとどまるのではなく、グローバル化した国際関係の変化のなかで、学問的枠組み自体の変革も求められ、それに対応した多様なアプローチが可能な力量を養う。

◆取り扱う領域（キーワードで記載） ご自身のキーワードを記入してください

現代産業	重商主義	ケインズ学派	複雑経済学
情報化社会	情報処理	インターネット	情報検索

◆授業の進行等について

	テ ー マ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	ガイダンス(第1～2週) (担当 菊地哲夫)	講義のガイダンス	事前に配布した資料を熟読すること。
2	学説史の紹介(第3～5週) (担当 菊地哲夫)	重商主義、重農主義、古典派経済学、ケインズ経済学、近代経済学の紹介	
3	現代産業分析の理論的枠組(第6～8週) (担当 菊地哲夫)	経済政策の内容を分析し、政策理念を検討する、アシエーション理論、経済倫理学の再検討	
4	情報処理技術の基礎と経済社会への応用(第9～14週) (担当 美土路知之)	情報処理技術の基礎とその現代の産業経営経済社会への応用について学ぶ	
5	総括(第15週) (担当 菊地哲夫)	総括・まとめ	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

講義の際に指示する。

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

講義の際に指示する。

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

講義への参加状況とレポートの内容により評価する

◆オフィスアワー

月曜日4限目(前期)

◆その他受講上の注意事項

受講生の進捗の状況に応じて演習内容を変更する場合がある